

港区でつどう、はじめる、つくりだす

# みなとBASE Magazine

No.03  
2023.  
August

港区立産業振興センターマガジン [みなとベース]

港区ではじめたい  
あなたを応援します！



TOPICS

会員インタビュー

株式会社ゼロック 代表取締役社長 **松井大輔**さん

Grip the Rein合同会社 デザイナー **大井想太**さん



港区立産業振興センター

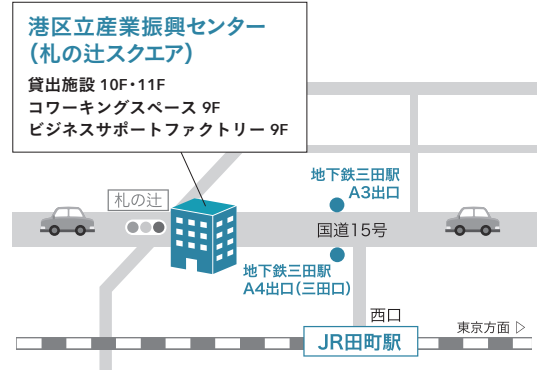
# 港区で つどう はじめる つくりだす



## その一歩、港区ではじめませんか？

### 港区立産業振興センターとは

港区立産業振興センターは「企業・人・地域の力」を一つに結び付け、最新の情報や技術を提供する「未来発展型の産業振興拠点」となる施設として田町駅から徒歩4分にある札の辻スクエア内に2022年4月1日にオープンいたしました。多様な価値観やニーズに対応する新たなビジネスや創業を積極的に支援しながら、地域の方々に親しまれる場所へと成長していきます。



### 貸出施設

大小ホール、会議室、研修室、ワークルーム等、様々な貸出施設があります。セミナーやイベントを中心に幅広い用途でご利用いただけます。

### コワーキングスペース

スタートアップ・起業家・フリーランスの方の活動拠点や、リモートされる方の仕事場としてご利用いただけます。個人や法人利用はもちろん、登録も可能です。

### ビジネスサポートファクトリー

ファッションテック、3Dデータ、AIを軸とするテクノロジーとして掲げ、最新鋭のソフトウェアおよび機器を設置しております。

### 営業時間

開館時間：月曜日～土曜日 9:00～21:30 / 日曜日 9:00～17:00  
休館日：年末年始（12月31日、1月1日）・臨時休館日

### アクセス

最寄駅 JR田町駅三田口（西口）から徒歩4分  
都営三田線・浅草線三田駅A4出口から徒歩3分  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番4号 札の辻スクエア9F・10F・11F

### お問い合わせ

港区立産業振興センター 総合受付 TEL.03-6435-0601



## 未来を拓く！集いの場 貸出施設

札の辻スクエア10F・11F

**利用可能時間** 月曜日～土曜日（祝日を含む）9:00～21:30 / 日曜日 9:00～17:00  
午前 [9:00～12:00] 午後 [13:00～17:00] 夜間 [17:30～21:30]

港区立産業振興センターは、中小企業の支援、人材の育成及び新たな事業の創出を図るための交流と連携の場として、企業と人と地域の力を結び付け、区内産業の振興、地域の活性化を目指します。

ホール、研修室、会議室等、様々な施設を貸し出しており、セミナーや研修、ワークショップなどにご利用いただけます。



セミナーや展示会など幅広い用途で使える大きなホールを低価格で利用できます。また、研修室はプロジェクター完備でセミナーや会議等に最適です。

貸出施設の  
詳細はこちら▶



港区立産業振興センター  
総合窓口またはe-mailに  
て団体登録・港区施設予約システム利用  
登録。ホールの説明会・下見も受付中！



大きな鏡のあるワークルーム2ではヨガ教室が開けます。

施設名	定員	広さ	利用料金 A	利用料金 B	利用料金 C	利用用途
			午前 [9:00～12:00] 区内団体が非営利目的で 利用する場合	午後 [13:00～17:00] 区内団体が非営利目的で 利用する場合	夜間 [17:30～21:30] 区内団体が非営利目的で 利用する場合	
ホール大	280名	約216㎡	6,300円	8,500円	8,500円	セミナー・発表会・ 展示会・式典・ ワークショップ等 幅広い用途に対応
ホール小	120名	約143㎡	3,700円	4,900円	4,900円	
※ホールにはその他、控室・配膳室・ロビー等のオプションがございます。						
会議室1	30名	約46㎡	1,300円	1,800円	1,800円	研修・講演会・ 会議等
会議室2	30名	約44㎡	1,200円	1,600円	1,600円	
会議室3	18名	約25㎡	800円	1,100円	1,100円	
会議室4	18名	約25㎡	800円	1,100円	1,100円	
研修室1	90名	約120㎡	3,500円	4,600円	4,600円	華道等
研修室2	70名	約80㎡	2,300円	3,000円	3,000円	
ワークルーム1	24名	約36㎡	1,400円	1,900円	1,900円	ヨガ・合唱等
ワークルーム2	20名	約38㎡	1,200円	1,600円	1,600円	

●記載料金は税込・基本料金（区内団体が非営利目的で利用する場合）です。区外団体：基本料金の2倍、営利目的：基本料金の2倍となります。



働きやすいワークスペース

ゆったりとした空間スペースと心地よい音響で快適な環境を提供しています。静かで仕事に集中できるサイレントブースや、事前予約制で利用できる会議室を設置しています。また、登記会員には郵便物を受取可能なポスト付きロッカーの貸出も行っています。

コワーキングスペースの詳細はこちら▶



会員登録のお手続きは、港区立産業振興センター9階総合受付にお越しください。見学会・登記面談も受付中！

スタートアップ必見の情報！

STARTUP DB

STARTUP DBとは、スタートアップ・ベンチャー企業のデータベースと、起業家・投資家の方々のインタビューや業界・企業分析などのSTARTUP DB編集部による独自リサーチコンテンツを統合した「情報プラットフォーム」です。投資家や営業先を探す・競合調査・投資実績の照会などに活用できます。コワーキング施設への導入は国内初！センターならではのコンテンツです。会員登録後、ご利用いただけます。

ビジネスチャンスはここから！  
コワーキングスペース

札の辻スクエア9F

利用可能時間 月曜日～土曜日（祝日を含む）9:00～21:30 / 日曜日 9:00～17:00

スタートアップ・起業家・フリーランスの方の活動拠点、空き時間の仕事場としてご利用いただけます。1時間単位から使える時間利用や、1カ月の定期利用が可能です。法人会員の場合は産業振興センターを所在地にして、会社の登記を行うことが出来ます。組織・世代・性別の垣根を超えて会員さま同士の交流が広がり、情報交換や新たなビジネスアイデアの発見につながるイベントも実施しています。

会員同士の交流イベント

月に1～2回スタッフがコーヒーを無料でふるまい、会員同士やスタッフとの交流をお楽しみいただけるイベントを開催しています。お仕事の悩みを相談して経験者からアドバイスをもらったり、趣味の話で盛り上がり。気軽に参加できるイベントです。



コワーキングスペースおよびビジネスサポートファクトリーのご利用にあたっては会員登録が必要です。

個人会員費用

区分	単位	金額（税込）
時間利用	1時間	450円
1日利用	1日	1,800円
定期利用	1カ月	18,000円

法人会員費用

区分	単位	金額（税込）
定期利用（産業振興センターで登記しない場合）	1カ月	18,000円
定期利用（産業振興センターで登記する場合）	1カ月	23,400円

●法人会員は最大6名まで登録可能です。（上記表の金額欄は1名あたりの単価です。）  
●産業振興センターで登記する場合（法人登記に限りです）、1人目は23,400円（税込）、2人目以降は18,000円（税込）です。



クリエイティブを味方に！  
ビジネスサポートファクトリー

札の辻スクエア9F

利用可能時間 月曜日～土曜日（祝日を含む）9:00～21:30 / 日曜日 9:00～17:00  
※機器利用は月曜日～土曜日 20:30、日曜日 16:30まで

ビジネスサポートファクトリーの軸となるテクノロジーは、ファッションテック、3Dデータ、AIの3つ。最新鋭のソフトウェアおよび機器を設置しており、クリエイター・デザイナー・エンジニアをはじめ、多くの方にご利用いただけます。フルカラー3Dプリンタなどの先端機器のご利用だけでなく、これらの機器を活用したビジネス支援やクリエイティブコミュニティの形成を目指して、様々なイベントを企画していきます。



アパレル系機器が充実

アパレルCADからプロッター、各種ミシンを豊富に揃えており、アパレル製品をパターン作成～仕上げまでファクトリー内で完結できます。また、昇華転写プリンタでオリジナル生地や電子刺繍ミシンで加工もでき、量産見本の製作ができる環境を整えています。

最先端でハイクオリティの3D機器

3Dデータを1000万色で造形できるミマキのフルカラー3Dプリンタを、一般の方も利用できるのは国内でもここだけ。フィギュアをはじめ様々な用途の造形物が製作できます。ハンディ型3Dスキャナの講習会もあり、3Dソフトが使えない方でもデータ製作が可能です。

フルカラー3Dの作品写真



アクリル板や木材等にカット・彫刻を施しアクセサリやアクリルスタンド製作ができるレーザー加工機や、大判のポスターが印刷できるプリンター、オリジナルプリントのボトルやiPhoneケースが製作できる立体物特化のプリンターなど、様々なモノづくりに対応した機器が揃っています。

ビジネスサポートファクトリーの詳細はこちら▶



会員登録のお手続きは、港区立産業振興センター9階総合受付にお越しください。見学会・登記面談も受付中！

PICK UP



高解像度のVR・ARゴーグル

人間の目と同等の解像度やアイトラッキング機能のあるハイクオリティのXRゴーグルを設置。3DデザインレビューやVR・XR・メタバース等の研究・開発に活用いただけます。また、VR・ARの世界を気軽に味わえる体験会も実施しています。3Dにご興味のある方はぜひご参加ください。

XRゴーグル体験会

●日程 毎週下記の日程で開催予定（日時変動あり）  
火・木曜日 15:00-16:00  
土曜日 14:00-15:00  
●費用 施設利用料 450円+機器利用料 600円で体験いただけます。  
ご参加には9階会員登録（無料）が必要です。

体験会の詳細はこちら▶



## 株式会社ゼロック 代表取締役社長 松井大輔さん

### コワーキングスペース利用

2015年東京大学工学部卒業、2017年同大学院マテリアル工学科修了。醍醐研究室で産業エコロジーの最先端を学び、卒業後当社設立。他専門は、金融・IT等。



### 株式会社ゼロック

2017年設立。LCAの専門性を活かして、企業の脱炭素経営を支援。環境負荷の見える化サービスや、ステークホルダーへの情報開示サービスを展開中。



# パイの奪い合いの戦いというより 満たされていない課題をみんなで解決するような戦い方を 楽しみにしています

——**株ゼロックは、GXや脱炭素のコンサルティング、LCA評価などが主な事業とお聞きしておりますが、松井さんがこうした環境分野に興味を持つようになったそもそものきっかけは何だったのでしょうか。**

大学4年から研究室を選ぶのですが、理系のくせに実験にほとんど興味がなかったのが、学科内で実験のないほぼ唯一の研究室を選びました。たまたま、その研究室が「産業エコロジー」という分野で、環境負荷やリサイクルを評価する内容だったのがきっかけです。こう言うと、教授にはいつも悲しい顔をされます(笑)。そこでは実験は全くせずに、パソコンで完結する内容で、本当にイメージ的にはコンサルに近いと思います。データ集めて分析して、シミュレーションしてっていうのを結構していました。それが今の仕事に繋がったというか、考え方などはすごく役立っていると思います。

——**事業を立ち上げてから現在まで、一番苦労したことや障壁に感じたことは何ですか？**

ファイナンスと、人材周りです。自分一人の力

だと詰むことを痛感しました。一昨年ぐらいまでのすごく初期投資がかかるようなことをやっていたのですが、なんか変なプライドで、なるべく自己資金でやりたいという思いもあって、周りを頼らずにいると、本当に簡単に行き詰まるのが分かりました。自分一人だと時間もお金も有限だったりするので、やっぱり周りにいる人から助けってもらったり、巻き込んで一緒にやるなどしないと厳しいと感じました。

——**株ゼロックの一番の強みを教えてください。**

「環境に良い／悪い」を国際基準で評価できる専門性です。見える化といわれるLCAやScope3をこままでしっかりできる企業はあまりないと思います。また、削減貢献量や、グリーンウォッシュチェックなど、ステークホルダー向けの正しく効果的な情報開示も大きな強みです。だいぶ専門的な言葉になってしまいましたが、役員が中学校のサッカー部同級生というのはよく褒められます(笑)。

——**メンバーのお互いの信頼感は既に醸成されていたのですか。**



そもそも会社を始めるとき最初からメンバーが中学校の同級生だったので、比較対象はないですけど、普通に生きていて感じることは、多分一番高い「人のハードル」って騙されるとかだと思んです。それが無いのは、やっぱりすごく大きいです。

——**設立から6年目を迎えて、現状の課題やいま力を入れていることは何でしょうか。**

信頼感、そしてその根拠となる実績でしょうか。特にこの分野は、大企業が相手、話が大きい、目に見える金銭的な成果がない、秘匿情報を扱う……という特徴があるため、非常にこずついています。

また、裏返しにはなるのですが、いかにほかの企業とシナジーを生み出せるかが私たちのビジネスでは重要です。共に「脱炭素」ができる仲間を増やして、大きいインパクトを生み出せるように頑張っています。

——**港区立産業振興センターのコワーキングスペースのことはどういったタイミングで、どのように知ったのですか。また、選択基準はどういったことでしたか。**

コロナもあり前の事務所を持って余しているときに、ネットで発見しました。こういうネットリサーチだけは私の得意分野なので、初期メンバーの一員となれたのは嬉しい限りです。お金や場所ももちろんですが、働きやすさや周りの人たちは意識していました。見学に来てみたら、建物がとてもきれいですし、3Dプリンターなど攻めの姿勢も見えて面白そうだなと感じました。また、きれいな会議室が使えるのは大きく、今でも外部からの来客にしっかり対応できています。

——**実際にこちらで登記をされてみて、どういったメリットがありましたか。**

単純ですが、知り合いも友達も増えました。スタッフの人が思った以上によくしてくれて、コーヒープレイクとかで自然に交流できる機会を設けてくれたり、

面白い話題を持ってきてくれたりします。こうやって取材を受けるのもなかなかできない経験ですよ。ちょっとしたイベントみたいなものにも参加しましたし、スタッフの方が「外でなんとかパーティーしよう」とか、「こういう人たちが今度集まりがあるんだけど、一緒に来ない？」とか。私が企画して、フットサル・イベントはちょっとやりたいですね(笑)。

——**コワーキングスペースの特徴の一つが、様々な業種の人が同じスペース内で仕事をしている点かと思われそうですが、そうした環境から仕事の面で影響を受けたりすることはありますか。**

私の場合は、刺激を受ける場面がよくあります。「この人頑張っているなあ、負けれないなあ」といつも隠れて思っています。また、直接的に仕事に影響しているかはわかりませんが、視野は広がります。どうしても自分の仕事をしていると一直線に視野が狭まってしまうので、なんとなくほかの人がどんなことして、何が最近ホットなのかはインプットされています。逆に、カーボンニュートラル、LCAなど、もしかしたらほかの人にも影響を与えているのかもしれないですね。「なんだよそれ」みたいな言葉が結構うちは多いんですけど(笑)。

——**最後に株ゼロックがこれから挑戦したい事・野望など、今後の展開についてお聞かせください。**

「環境をお金に変える」を目標にしているので、まずは胸張ってそれが言えたらいいですね。社会的なインパクトも出しながら、働き方もサステナブルで、収入面でもみんながあこがれる業界を作れたらカッコよさそうです。この分野はもうちょっとビジネスになってるかなって思ったんですけど、思ったよりなっていない(笑)。それから、なにより目標が2030年とか2050年と、先が長い話なので、視野を狭めすぎずに働くのが一番で、自分たち次第だと思っています。パイの奪い合いの戦いというよりは、まだ満たされていない課題をみんなで解決するような戦い方を楽しみにしています。



## Grip the Rein合同会社 デザイナー 大井想太さん

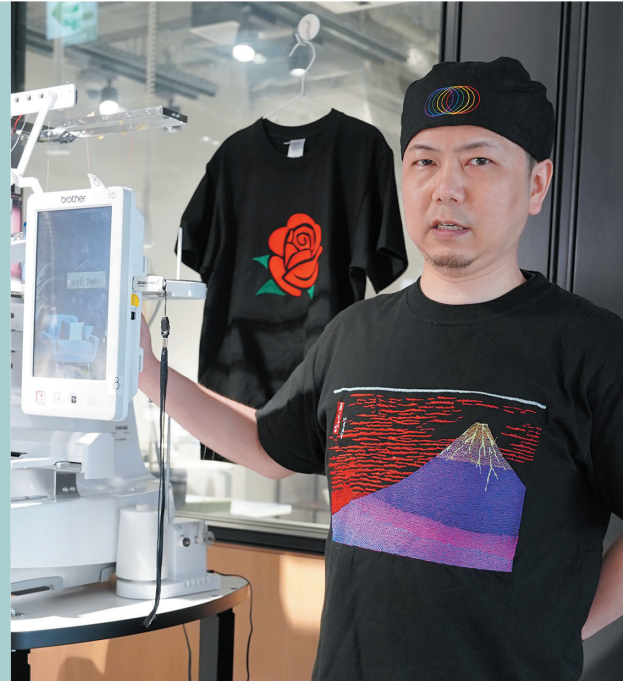
### ビジネスサポートファクトリー利用

社員の傍ら刺繍を趣味として嗜んでいたところ、2016年Tech Shop Tokyoにて業務用刺繍マシンと出会い、趣味をビジネスに変えるため2021年Grip the Reinを設立、2023年に港区産業センターのサービスを利用し、港区札の辻スクエアへ登記移転。

### Grip the Rein LLC

アパレル製品に刺繍を施した商品の企画・製造・販売といった一連の業務をワンストップで提供。現在は主にTシャツや布帛製品を販売。今後はレザーバッグやジャケット等の皮革製品も扱う予定。販売チャネルはECオンラインショッピング（海外発送含む）を準備中。

IN THE RHYTHM



## 沼の底が見えない代わりに 表現の限界も見えていない。 もの作りというのはトライアンドエラーの連続です

——Grip the Reinでは、アパレル製品に刺繍を施した商品の企画・製造・販売を行っているとお聞きしましたが、どのような商品なのでしょう。

当面は刺繍が施されたアパレル製品を販売します。オリジナルデザインのTシャツ、帽子、ハンカチやランチバッグ等がメインとなります。それが軌道に乗り次第、ワイシャツや他のアパレル製品の開発も行います。その次のステップとしてはオリジナルのレザー製品の販売を考えています。ブランドコンセプトはあまり考えてこなかったのですが、言うならば、「モノヅクリ from Japan」でしょうか。日本から新しい価値観を世界に普及させたいです。例えばいま私が着ているTシャツですが、葛飾北斎の描いた浮世絵の「赤富士」を自分でアレンジして、それをさらに刺繍に落とし込んでTシャツにしたものなんです。コンセプトとしては「北斎の悪夢」。色遣いもあえてどぎつくりしています。

——そもそもこうした刺繍を始められたきっかけを教えてください。

知人とおそろいのポロシャツを作る機会があり、最初は手縫いでやっていたのですが、手縫いって本当に

大変で、3.5cm×3.5cmのサイズ、ポロシャツの胸によくあるワンポイントのロゴマーク、それ1枚手縫いするのに5～6時間かかる。で、もうこんなやってられないっていうのがあって色々調べたら、いまはもう閉鎖されちゃったんですけど「TechShop Tokyo」っていうシェア工房で刺繍マシンの取り扱いがあり、その後はズブズブと沼にハマり今に至るといった具合です。

——刺繍というと、手間も時間もかかるしデザインできる人も限られるということで、コストのかかる表現方法だと思いますが、大井さんが製品にするのは大切に保管されるものではなく、Tシャツという割とラフに着られるものですよね。

はい。そうですね。ただ芸術作品を作りたいわけではなくて、工業製品を作りたいという気持ちがありますし、刺繍を作るのに手間がかかるのは確かにそうなんですけど、製品としての堅牢性は意外と高いんですね。刺繍の入ったTシャツを裏返して洗濯ネットに入れて洗えば、デリケート洗いとかじゃなくても普段使っている洗濯モードで全然問題なく洗えたりします。

——もの作りを始めてから現在まで、一番苦労したこ

とや障壁に感じたことは何ですか。

デジタルデータだったら、デジタル内で完結しますが、もの作りって最後はアナログなので、アナログに置き換えた瞬間に別工程になってしまうんです。マシンが壊れましたとか、そもそも糸がなかったらどうするかとか、サプライチェーンをいかに確保するかというのも問題だし、そういった段取りがうまく繋がるように、常に気をつけていなければいけないのはやはりストレスではあります。また、同じ機械でもAのマシンは早く縫えて、Bのマシンは遅いけれどもきれいに縫えるとか、アナログゆえに若干性能が違ってきたりするので、常に微調整が必要になったりします。

——刺繍マシンのスイッチを押せば、同品質の製品が次から次に出てくるというものでもないのですか。

その辺がハードルの高さだと思います。この生地にはこの縫い方、あの生地にはあの縫い方、マシンもスピードが早いほうがいいのか、遅くきれいに縫うほうがいいのか、それによって仕上がりが全然違ってきます。私はまだそこまでわかっていませんが、やはり刺繍工場さんだとそこまで微調整をやっているみたいです。本当に奥が深くて自分はまだまだだと思えますが、まだ沼の底が見えない代わりに、表現の限界も見えていないので、まあまだ当面は大丈夫かなと思っています。

——この港区立産業振興センターを拠点として選んだ理由を教えてください。

刺繍マシンが使える。利用料が安い。施設自体が新しい。札の辻スクエアを利用して登記ができる。図書館もスーパーマーケットも併設されている。良い事ずくめです。TechShop Tokyoが数年前に残念ながら閉鎖されてしまいましたが、新たにこうした施設ができて非常に嬉しく思っています。弊社の場合、刺繍マシンが使えないとスタートラインにも立てないので、とても助かっています。

——活動拠点を探している他のクリエイターの方々へ向けて、こちらの産業振興センターのおすすめポイントを教えてください。

シェア工房として非常に価格が安い、というのは利用者から見てもストロングポイントですので、まずは「来て、見て、触って」を繰り返すのが良いと思います。機器を使用しても、毎回必ず結果を出す必要は無く、むしろ何度も失敗して、その結果何かを生み出すことができれば良い訳で、安価にトライアンドエラーを行



うことができる場所は貴重です。結局もの作りというのは、トライアンドエラーの連続で、その中から一つでも光るものがあれば、それを伸ばしていけばいいだけで、なんかいきなりアイデア1発でということではないと思っています。

——Grip the Reinがこれから挑戦したい事・野望など、今後の展開についてお聞かせください。

まずは現在手掛けているTシャツ等の販売を安定化させ、早い段階で次に考えているレザー製品の販売まで漕ぎ着けて刺繍とレザーで二本柱にしたいですね。あとは海外のセレブと言われる方々に着てもらいたい、と密かに野望を抱いています。広告宣伝になるので(笑)。

——レザー製品というと、また刺繍とは全然違う商品になりますか。

まあ単純に好きだからということもあるんですね。レザーに刺繍とかも考えています。例えば、野球のグローブに名前を入れたりするようなものですね。ただ、レザーに刺繍をすると、レザーの耐久性が弱くなってしまいます。刺繍だと何万回と針を通すんですけど、布の場合は針が入った瞬間に生地が微妙にずれて、生地が糸が切れるということはないんですけど、皮は数ミクロンの繊維が絡まっているので、穴を開けてしまうともう戻らないんです。それで縫い目が入ってしまうと、切り取り線みたいになってしまって、そこから破けてしまうリスクがあるんです。

——いろいろと課題が多そうですね。

レザーは生物から生まれるものなので、簡単に生産できないという面もあります。でもそういった課題を一つひとつクリアしていったら目標に向かっていく面白みを感じています。

利用された機器はこちら▶

Brother  
業務用刺繍マシン  
PR1055X



# EVENT 今後の セミナー&イベント情報

港区立産業振興センターではセミナーやイベントが年間を通して行われています。昨年開催したイベントがテーマや内容を変えて今年も開催予定となっておりその一部をご紹介します。イベントの多くが無料で参加可能です。ぜひご参加をお待ちしております。

セミナー・イベント最新情報は  
センター公式SNSでも随時配信中です! ▶▶▶



## 1 クリエイティブ系 スタートアップ必見!



### スタートアップ事業成長プログラム 「MINATO Accelerator」

港区に集積するクリエイティブ(ファッション・3D・AI等)領域におけるシード・アーリーフェーズのスタートアップを対象としたアクセラレーターを実施します。業界有識者を招いたピッチイベントや、プロ人材によるハンズオン型研修を行うことで、同世代の横のつながりと、世代別の縦のつながりをつくり、港区のスタートアップエコシステムを構築します。

## 2 どなたでも参加OK! 新しいチャレンジが生まれる交流の場

### コミュニティ形成プログラム「ヨリミチ部」

港区で働く・暮らす、楽しい時間を創りたい人たちが集まり、つながり、面白いアイデアを共有して「やったもん勝ち!」で新しいチャレンジがどんどん生まれる場、それが「ヨリミチ部」です。最大の目的はみんなが友達になること。毎月開催してるので、思い立ったら、どなたでも、ぜひお越しください!



## 3

### 新製品・新技術の開発に 大学と連携しませんか?

### 産学官連携

大学等研究機関と産学官連携し、大学の技術と区内中小企業のニーズをマッチングするためのイベントや交流会を開催し、中小企業の新製品・新技術の開発を支援しています。昨年はAIなどのデジタル技術について講演会を行いました。企業や大学等の研究機関からのお問い合わせもお待ちしています!



## 4 新時代のアパレル業界での 成功をサポートします!

### ファッションテックセミナー

個人ブランドのデザイナーやアパレル企業関係者に向けて、商品開発力の向上やDX化促進を目的としたセミナーを開催しています。ANREALAGEやEZUMiなど第一線で活躍する著名デザイナーのブランド戦略や、DXによるサプライチェーンマネジメントなど、ファッションからテック分野までアパレル業界の課題を幅広く取り上げます。

これからの時代のアパレル業界で成功していくための知識や人脈作りに、ぜひご活用ください!



## 5 共創によるイノベーションを起こしたい 企業が集まる年に一度の祭典

### 今年も開催します! 港区オープンイノベーションフェア

2023.10/11(水)開催!



詳細はこちら



港区事業者を中心に多様な業種のスタートアップ企業や大学・研究機関が集う「港区初の事業者間交流イベント」です。港区の産業特性である「多様性」や「グローバル」に関するポテンシャルを活かし、先端の技術・サービスをお持ちの出展者や参加者のビジネス支援やマッチングの機会を提供。今年のテーマは「Port of Innovation—未来を創る出会いが起きる場所—」。より出展した企業の「出会い」が生まれるよう、特別企画やマッチングする仕組みを作っています。

## 6 業界を超えて交流の環が広がる会員イベント

### スタートアップもクリエイターも! 会員交流イベント

コワーキングスペースとビジネスサポートファクトリーの会員同士を繋ぐ場として、会員交流イベントを実施しています。今年の5月には、オフィスや自宅で気軽に椅子に座ってできる効果的なヨガストレッチと、「書く瞑想」と言われている『ジャーナリング』をテーマに開催。イベント後はハーブティーを飲みながら参加者同士の交流を楽しみました。2024年3月には会員以外も参加できるビッグイベントも開催予定!



## 7 3D初心者や経験者のステップアップに!

### 3Dデザイン推進セミナー

3Dに興味のある方に向け、ビジネスサポートファクトリーに設置している3Dプリンタなどの、3Dデザインに関わる様々な機器をよりビジネスに活用するためのセミナーを行っています。昨年はBlenderでの3Dデータ制作講座を開催しました。2023年度はZbrushでアクセサリーの3Dデータ制作をするなど、他のソフトを使用した企画も開催していきます。



各イベントの詳細またはアーカイブは  
WEBサイトをご覧ください



港区立産業振興センターの  
コワーキングスペースおよびビジネスサポートファクトリーは  
会員の方にご利用いただけます。

● 15歳以上、高校生以上が対象です ● 港区内・港区外を問わずご登録可能です

会員登録

会員登録のお手続きは  
港区立産業振興センター9階総合受付にお越しください

見学会・登記面談

会員登録前の見学や、登記の面談をご希望の際は  
Webサイトからお申込みください

詳しくはWebサイト  
<https://minato-sansin.com>



編集・発行 2023年8月

港区立産業振興センター

〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番4号 札の辻スクエア9F・10F・11F  
TEL.03-6435-0601 <https://minato-sansin.com>

Cover Photo: Saera Jin